

I. 平成30年度の実績

グループ名称	いいね！ながさき木の家づくり会				
H30採択グループ番号	07	—	0053	—	0742

A H30年度にグループとして力を入れた取組み

内容	長崎県は産地ではなく木材製品の供給面、価格面を考え地域材に合法木材証明制度の国内と国外を設定。但し、会の取組として合法木材証明制度(国内)を推奨するために共通ルールに羽柄材の国産材使用をルールとする。
----	--

B 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2015/03/19	名称	地域型住宅グリーン化事業説明会	●		
	内容	平成27年度以降は、個別に変更点や報告事項などの連絡を行っている。							
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2018/08/25	名称	「あべの市」	●		
	内容	毎年行っている展示会「あべの市」のなかで希望する消費者の方に説明・案内を行った。							
	消費者説明会 2		開催日		名称				
	内容								
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2017/08/21	名称	ZEH研修	タイプ	座学	●
	工務店研修会 2		開催日		名称		タイプ		
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ		
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ		
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ		

C 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有					●
	内容	ZEH研修として外皮計算、1次エネルギー計算等の講習会を開催した。					
取組み②	サポートの有無 2	有					●
	内容	・標準カタログを作成した。 ・事務局が申請等のサポートを行う。					
取組み③	サポートの有無 3						
	内容						

D 住宅履歴情報の蓄積について

① 履歴情報預り証の発行件数	発行済	0	発行予定	0
② 住宅履歴情報の保管先	自社	機関名		

E 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有	
内容	事務局がグループ内で代替履行できる構成員を紹介する。又、住宅履歴の情報も承継する。(非構造は除く)	
② H30年度における施工構成員の廃業	無	
対応内容		

F 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組 ①	有	
内容	断熱性能を重視し、「断熱等性能等級4」以上とし、外壁は通気工法を行う。又、日射対策として軒の出を600以上とし、外壁全体に遮熱シートを採用する。	
省エネ化に対する取組 ②		
内容		
BELS工務店の登録数	0 社	

I. 平成31年度の取組みの計画

(1) グループの信頼性と技術力の向上に向けた取組みの計画

グループ名称	いいね！ながさき木の家づくり会			
H30採択グループ番号	07	—	0053	— 0742

A 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	無	開催日		名称	
	内容					
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2019/08/24	名称	「あべの市」
	内容	展示会にて消費者の方を対象に補助金の相談会を行う。				
	消費者説明会 2		開催日		名称	
	内容					
③ 工務店	工務店研修会 1	無	開催日		名称	タイプ
	工務店研修会 2		開催日		名称	タイプ
	工務店研修会 3		開催日		名称	タイプ
	工務店研修会 4		開催日		名称	タイプ
	工務店研修会 5		開催日		名称	タイプ

B 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み ①	サポートの有無 1	有				
	内容	標準カタログを基に事務局がサポートを行う。				
取組み ②	サポートの有無 2					
	内容					
取組み ③	サポートの有無 3					
	内容					

C 住宅履歴情報の蓄積について

住宅履歴情報の保管先	自社	機関名	
------------	----	-----	--

D 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有			
内容	事務局がグループ内で代替履行できる構成員を紹介する。又、住宅履歴の情報も継承する。(非構造は除く)			

E 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組み (新築)	有			
内容	省エネルギー化に向けた研修会が実施される際は施工業者にも伝え、受講を推奨する。			
省エネ化に対する取組み (改修)				
内容				

F 省エネ改修に関する研修の計画

研修計画 ①	無	実施日		
内容				
研修計画 ②		実施日		
内容				

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(2) 地域型住宅及び生産体制の整備に関する計画

グループ名称	いいね！ながさき木の家づくり会				
H30採択グループ番号	07	—	0053	—	0742

A 提案する地域型住宅の特徴

内容	中国からの影響で黄砂・PM2.5の被害がある為、24時間換気システム(PM2.5対応品)を利用し室内空間の快適性を向上させる。又、台風の通過エリアである為、瓦を使用する場合は全数釘打ちとする。
----	--

B 地域材の利用に関する共通ルール

①-1 1棟当たりの主要構造材地域材の使用割合	50%未満	50%以上	■	80%以上	
①-2 地域材の使用部位	② 地域材の利用に関する補足説明				
主要構造材	土台	有	①主要構造材の70%以上に合法木材証明制度の国内と国外を使用する。 ②柱は合法木材証明制度(国内)の杉KDを使用する。 ③梁・桁は合法木材証明制度(国外)の米松KDか合法木材証明制度(国内)の杉KDとし、長さ4M梁成180mmまでは杉KDを使用する。 ④土台は合法木材証明制度(国内)の桧を使用する。 ⑤羽柄の間柱・垂木全てに合法木材証明制度(国内)の杉KDを使用する。		
	柱	有			
	梁・桁等の横架材等	有			
羽柄材	間柱、根太、垂木等	有			
造作材	枠材、廻縁等	無			
板材	壁板、床板等	無			

C 生産体制の整備と生産性向上に向けた取組み

① 地域材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	事務局で共同購買を検討し、合理化とコスト削減を図る。	
② 建材・特定資材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	共同購買できるものは共同購買し、合理化に向けた体制を構築する。	
③ 地域材・建材・資材の在庫供給情報の共有化	有	
内容	流通構成員が随時、情報交換行い市況を把握する。市況の変化があり、供給に支障がでる可能性の場合、事務局と対策を打つ。	
④ 施工に関する統一ルール	有	
内容	フラット35及び住宅瑕疵担保保険設計施工基準を準用する。	
⑤ 住宅のメンテナンスに関する統一ルール	有	
内容	経過年数告知サービスを利用し、定期的な点検を行うルールを設ける。補修工事を行ったときは、その前後の写真等を履歴情報に蓄積する。	
⑥ 施工検査(瑕疵担保責任保険の検査以外)	有	
内容	グループ独自の検査ルールを設け、お施主様の受け渡しまでに確認を行う。	
⑦ 見積りに関する統一ルール	有	
内容	共通のフォーマットを作成し、お施主様にとって分かりやすい見積りを提供する。又、構成員においても、共通のフォーマットを作成し、間違い等が起りにくい書式を用いる。	
⑧ その他の共通ルール	有	
内容	特になし。	

D 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備に対する取組み

① 週休2日制の導入の取組	無	内容	
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	無	内容	
③ 社会保険への加入	有	内容	基本的には全事業者が加入している。
④ 建設工事従事者の安全及び健康の確保のための取組	有	内容	年1回健康診断を行う。

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(3) 地域の産業・住文化・景観等に関連する計画

グループ名称	いいね！ながさき木の家づくり会				
H30採択グループ番号	07	—	0053	—	0742

A 地域の産業・住文化・景観等、和の住まいの取組みに関する対応

① 畳の活用	有	内容	1棟当たり6畳の和室を配置する。
② 和瓦の活用	有	内容	基本仕様として和瓦を推奨している。
③ 襖・障子の活用	有	内容	基本仕様として和室、押入等は襖・障子を推奨している。
④ 地域の伝統的素材の活用	有	内容	長崎県諫早市が原産である諫早石を家の外構の一部に活用する。

B 地域の住文化に関する取組み

① 地域の伝統的なデザインの継承	無	内容	
② 地域の住まい方の継承	有	内容	西からの日射量を軽減するため、デザインに合わせた提案を行う。
③ 地域の街並み形成への配慮	有	内容	外構には植樹を推奨し緑を意識した家づくりを行う。

C 被災地の復興に資する取組み

① 東日本大震災・平成28年熊本地震・平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震の復興に資する取組み	<p>熊本県産材(特に土台)の積極活用。展示会や現場見学会等での来場記念品等に被災地の復興対象の商品を使用する。</p>
② 地域型住宅の供給地域において災害等が発生した場合に検討している取組み	<p>特になし。</p>